

神中しーぶん

平成27年
10月20日

神原中
不定期20号

二学期が始まる!!

— 失敗することを恐れず、前進する —

11月行事予定

- 2日 安全点検日 教育相談
- 4日 異文化交流会(3年)
- 5日 ライフスキル研修会
- 6日 教育相談
- 8日 旗頭フェスタinなは
- 9日 人権の放送⑤
小中合同授業研究会
身なり週間～13日
後期時間割開始
- 10日 教育相談
- 11日 部活停止～19日 教相
- 12日 生徒会専門委員会
- 13日 授業参観日 教育相談
(4校時目：講話)
- 14日 数学検定
- 16日 職員会議
- 17日 学年朝会
- 18日 中間テ社・理・国
- 19日 中間テ数・英
- 20日 夜間街頭指導
一年：午後振替休
- 21日 地区中文祭見学(1年)
- 24日 小中合同あいさつ運動
～27日
- 25日 生徒会立会演説会
- 26日 推薦委員会～27日
- 28日 土曜授業月1234
- 30日 学習発表会リハーサル

神原中の生徒や先生全員が事件・事故に巻き込まれることなくこうして二学期の始業式を迎えられることを大変嬉しく思います。

秋休みの間にも多くの生徒の活躍が見られました。

那覇大綱挽きの、旗頭行列で活躍した生徒、十月二十四日の地区駅伝大会に向けて練習に励んだ人達がいました。昨日は、那覇市のジャズフェスタが開催され、吹奏楽部が参加し、きれいなジャズの音色を披露してくれ

ました。

十五日(木)には、二年生の砂川陽南乃さんが読谷村で老人福祉作文で表彰されました。識名園歌会に向けた短歌で、城間祥希さんが沖繩テレビ社長賞の受賞が決定しました。

その他にも頑張った生徒はたくさんいると思います。二学期も続けて前進してほしいと思います。

全校生徒一人一人がいろんな行事や取り組みの中で、今より一歩でも二歩でも前進出来るようにしましょう。一学期にできていなかったこと、例えば「時間を守る」、「場に合った言葉遣いをする」、「きちんと清掃をする」、「遅刻をしない」など、当たり前だけれどもできていなかったことにも意識を強く持つて前進してほしいと思います。

ここで、今回ノーベル医学・生理学

おめでとう

- ☆ 第11回 I P A「ひろげよう情報セキュリティコンクール」in 沖繩(ポスター部門) 理事長賞…上原望生③
- ☆ 第17回 識名園歌会～未来へと歌い継ぐために～ 社長賞…城間祥希② 入選…久高政虎② 金城隆之② 新城颯太② 呉屋杏圭音② 原田知佳②
- ☆ 第31回 全沖繩ピアノ検定 レベル11…上原愛花① レベル14…喜納清夏①
- ☆ 地区駅伝選手激励会 来る24日(土)に開催される地区駅伝の激励会の様子。



賞をもらった大村智教授の話をしたと思います。

大村さんは、山梨県韮崎市の出身で家はぶどう農家。高校を卒業したら農家を次ぐ予定でしたが、お父さんから大学に進学するのを許されて山梨大学に進み、ワインを作る研究をしているとき、ブドウ糖からアルコールをつくる酵母の働きをみて「とても人にはまねできない」と、微生物の計り知れない可能性に感動し、微生物の研究に進むことにしたそうです。

そして北里研究所に入り、いつでもどこにでも小さなビニール袋とスプーンを持ち運び、いろんな所でスプーン一杯の土を採取して、その土の中にいる微生物を研究してきました。

そして、ゴルフ場で採取した土の中から寄生虫に効果のある抗生物質を発見して、「イベルメクチン」という薬を開発したんです。その薬がアフリカで見えなくなる風土病「オンコセルカ症」にかかった三億もの人びとを救ったそうです。

大村さんの開発した「イベルメクチン」は、沖繩の風土病「糞せん虫症」にも効果を発揮し、多くの人が救われ、沖繩でも大いなる貢献をしました。

大村さんは、「何か賞を取ろうと思つて仕事をしているわけではなく世の中の役に立とうと思つて必死でやってきました。」と言っています。

そして、大村さんからの若い人達へのメッセージとして、「失敗を恐れないでほしい。失敗を繰り返してもやりたいことをやりなさい。誰よりも失敗した人が成功する。成功した人は失敗をしたと言わないが、人よりも三倍は失敗している。人がやらないことをやるから失敗するんだ。他人と同じことをやっつていてもだめ」と述べています。

失敗することを恐れずに、前進する。これを神原中学校の二学期のキーワードにしたいと思います。

今学期も先生方と生徒全員で力を合わせて素晴らしい神原中学校を創造しましょう!

(以上、始業式の校長あいさつより)